

【I】次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

第二次世界大戦が終結して15年が経過した1960年、日本は、敗戦の痛みから徐々に回復し、(ア) 高度経済成長への道を歩もうとしていた。1960年に岸信介内閣から代わった(1)内閣は、所得倍增計画を掲げ、1964年には「先進国クラブ」とも呼ばれる(2)の加盟を実現した。佐藤栄作内閣の1968年にはGNP(国民総生産)でイギリスや西ドイツ(ドイツ連邦共和国)などの(イ) ヨーロッパ諸国を抜き、世界第2位となった。

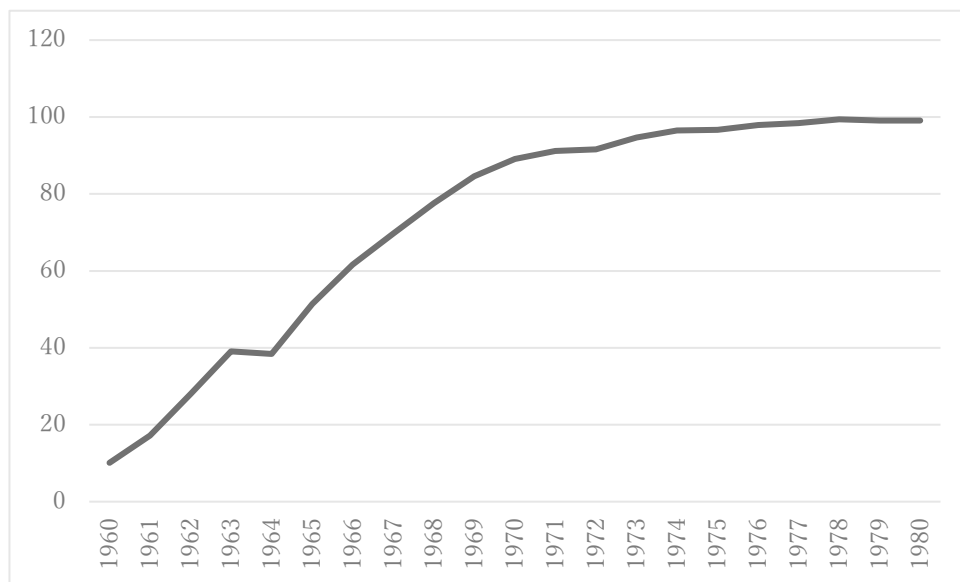
同時期、第二次世界大戦後のアメリカ合衆国とソ連との冷戦は、両国の核兵器開発競争を激化させていた。1962年には(3)をめぐり米ソ核戦争の一手手前まで行く危機もあった。この1962年の核戦争の危機は避けられたものの、1965年には、アメリカ軍が、(ウ) ベトナムの内戦に積極的に介入してベトナム戦争が本格化するなど、世界の戦火は絶えなかった。

ベトナム戦争の拡大などとともにアメリカ合衆国やヨーロッパ各国などでカウンター=カルチャーと呼ばれる従来の文化に反発する動きが起き、日本にもその影響は及んだ。それと呼応するごとく、(4)などを中心とする黒人の公民権運動も高揚した。(4)は、1968年にテネシー州メンフィスで遊説中に暗殺されたが、ベトナム反戦運動などの学生運動も世界中で活発化し、「熱き時代」が生まれつつあった。

(エ) 1955年のアジア=アフリカ会議で提唱された平和十原則に基づき、インドのネルーやインドネシアのスカルノなどは米ソ二大国とは一定の距離を保つ第三の道的外交を模索していたが、インドのネルーは、チベット問題について中華人民共和国と平和共存に同意していたにも関わらず、1962年には国境紛争から中印の武力衝突を引き起こした。また、マレーシアとの国境紛争などをめぐり国際連合から脱退したスカルノは、1965年の(5)で事実上失脚してしまい、第三の道的外交は混迷を深めていた。

一方、アフリカ諸国は、第二次世界大戦後もアジア諸国とは異なり、多くがヨーロッパ列強の植民地であったが、1960年には、(6)などがフランスから独立し、合計17ヵ国のアフリカ諸国が独立を達成した。このため1960年は「アフリカの年」と呼ばれ、1963年にはエチオピアのアディスアベバで、OAU(アフリカ統一機構)が結成された。アフリカの新興国が国際連合に加盟したため、国連総会におけるアジア・アフリカ諸国の割合が増え、国際政治に少なからず影響を与えていくことになった。

問 1. 下線部（ア）に関連して、次のグラフは、1960 年から 1980 年までの日本における家庭用電気冷蔵庫の普及率を示したものである（縦軸の数字は％）。グラフについて述べた文として最も適当なものを、次の（A）～（D）より選び、解答欄 1 にマークしなさい。



（内閣府 消費動向調査より作成）

- （A）1960 年から 1980 年まで、家庭用電気冷蔵庫の普及率は、一貫して増加し続けている。
- （B）アジア最初のオリンピックが東京で開催されたとき、家庭用電気冷蔵庫の普及率は 50％に達していなかった。
- （C）日本の GNP がはじめて世界第 2 位になった年に、家庭用電気冷蔵庫の普及率は 80％を超えた。
- （D）第 4 次中東戦争による第 1 次石油危機（オイルショック）の影響で、家庭用電気冷蔵庫の普及率は、翌年 90％以下に下落した。

問 2. 空欄（ 1 ）にあてはまる語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 2 にマークしなさい。

- （A）田中角栄 （B）吉田茂 （C）鳩山一郎 （D）池田勇人

問 3. 空欄（ 2 ）にあてはまる語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 3 にマークしなさい。

- （A）WTO （B）SEATO （C）NATO （D）OECD

問4. 下線部(イ)に関連して、第二次世界大戦後のヨーロッパ諸国について述べた文として最も適当なものを、次の(A)～(D)より選び、解答欄4にマークしなさい。

- (A) 1950年代にヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が結成された。
- (B) イギリスでは、サッチャー首相が重要産業の国有化を実施した。
- (C) フランスの第五共和政の大統領であるド=ゴールは、核兵器の保有に反対した。
- (D) ドイツ連邦共和国の首相メルケルは、ロシアとの融和を進める東方外交を推進した。

問5. 空欄(3)にあてはまる語句を、次の(A)～(D)より選び、解答欄5にマークしなさい。

- (A) アメリカ合衆国が、キューバに建設したミサイル基地
- (B) アメリカ合衆国が、クリミア半島に建設したミサイル基地
- (C) ソ連が、キューバに建設したミサイル基地
- (D) ソ連が、クリミア半島に建設したミサイル基地

問6. 下線部(ウ)に関連して、第二次世界大戦後のベトナムについて述べたあ・いの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の(A)～(D)より選び、解答欄6にマークしなさい。

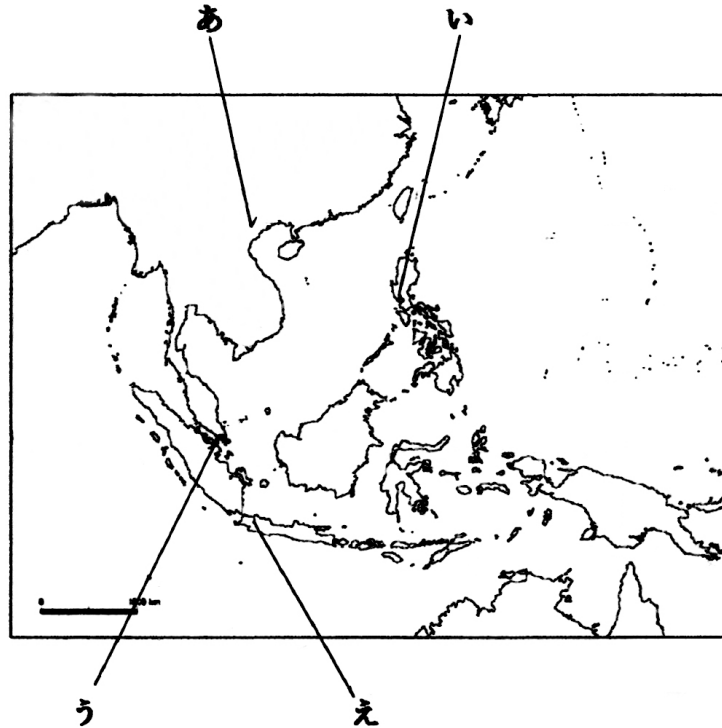
- あ ゴ=ディン=ジェムがベトナム社会主義共和国の大統領に就任した。
 い ニクソン大統領のときベトナム(パリ)和平協定が締結された。
- (A) あー正 いー正 (B) あー正 いー誤 (C) あー誤 いー正
 - (D) あー誤 いー誤

問7. 次の写真は、空欄(4)の人物を写したものである。空欄(4)にあてはまる語句を、次の(A)～(D)より選び、解答欄7にマークしなさい。



- (A) キング牧師 (B) マハトマ=ガンディー (C) キューリー夫人 (D) オバマ

問 8. 下線部 (エ) に関連して、アジア=アフリカ会議がされた場所を示した次の地図中のあ～えのうち最も適当なものを、下の (A) ～ (D) より選び、解答欄 8 にマークしなさい。



- (A) あ (B) い (C) う (D) え

問 9. 空欄 (5) にあてはまる語句を、次の (A) ～ (D) より選び、解答欄 9 にマークしなさい。

- (A) 五・一五事件 (B) 九・三〇事件 (C) 天安門事件 (D) 五・三〇事件

問 10. 空欄 (6) にあてはまる語句を、次の (A) ～ (D) より選び、解答欄 10 にマークしなさい。

- (A) アルジェリアやエジプトやエチオピア
(B) リベリアや南アフリカ共和国やスーダン
(C) モロッコやチュニジアやアンゴラ
(D) マダガスカルやセネガルやニジェール

【II】次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

古来よりモンゴル高原では主にモンゴル系の遊牧民族が勢力を持っていた。13 世紀の初め頃、モンゴル部の(ア)チンギス=ハンがモンゴル高原諸部族の統一に成功した。その後、チンギス=ハンは各地へ遠征し、まずは南下して(1)を攻撃し、西遼を併合し、西方の(2)=シャー朝を攻めて瓦解させた。さらに、モンゴルへ戻った後、(イ)西夏を攻撃し、事実上滅ぼした。

チンギス=ハンが死去すると、三男の(3)が大ハンに即位した。1234 年、南下して(1)を滅ぼし、中国のほぼ北半分まで領有するに至った。また、チンギス=ハンの長男ジョチの子バトゥは、(3)の命により西方へ遠征し、キエフ公国などのスラブ系諸侯を服属させた。さらに、(4)ではドイツやポーランドの諸侯を打ち破り、ドイツ・ポーランド側は多数の戦死者を出したといわれる。チンギス=ハンの次男チャガタイの一族は、中央アジア一帯を制圧し、1307 年にはチャガタイ=ハン国を建国した。

オゴデイが死去すると長男のグユク、グユクが死去するとチンギス=ハンの四男トゥルイの長男モンケが相次いで大ハンに即位した。弟の(5)はモンケの命により大理国を攻め滅ぼし、チベットや(ウ)ベトナムにも侵攻した。(5)の弟フレグもモンケの命により西方へ遠征し、1258 年には(6)朝を滅ぼし、イル=ハン国を建国した。モンケは(エ)南宋へ遠征したが、その途中で死去した。

モンケの死後、(5)が大ハンに即位した。(5)は中国の統治に専念するため、現在でいう北京の地に「大都」と呼ばれる都を建設し、移り住んだ。(5)は南宋の攻略を続け、1279 年には南宋を完全に滅ぼした。

問 11. 下線部(ア)は、1206 年に開催された有力者の集会によって「大ハン」に選出された。この集会の名称を次の(A)～(D)より選び、解答欄 11 にマークしなさい。

- (A) コンキリアー・プレービス (B) クリルタイ (C) ディング
(D) セナートゥス

問 12. 空欄(1)にあてはまる国号を、次の(A)～(D)より選び、解答欄 12 にマークしなさい。

- (A) 遼 (B) 金 (C) 北宋 (D) 高麗

問 13. 空欄(2)にあてはまる王朝の名称を、次の(A)～(D)より選び、解答欄 13 にマークしなさい。なお、この王朝は 1077 年、トルコ系の民族がアム川下流域に建国したイスラーム教国で、現在のイランまで勢力を拡げていた。

- (A) ナスル (B) ゴール (C) ホラズム (D) ムワッヒド

問 14. 下線部（イ）に対する説明として誤っているものを、次の（A）～（D）より選び、解答欄 14 にマークしなさい。

- （A）初代皇帝は李元昊である。
- （B）漢字を参考にし、独自の文字を創造した。
- （C）チベット系のタングート族が中心となって建国した。
- （D）北宋に侵攻したが、1004 年にいわゆる「澶淵の盟」を結んで講和した。

問 15. 空欄（ 3 ）にあてはまる人名を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 15 にマークしなさい。

- （A）ハイドゥ （B）キプチャク （C）オゴデイ （D）カチウン

問 16. 空欄（ 4 ）にあてはまる地名を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 16 にマークしなさい。

- （A）ワルシャワ （B）ケーニヒスベルク （C）ヴロツワフ
- （D）ワールシュタット

問 17. 空欄（ 5 ）にあてはまる人名を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 17 にマークしなさい。

- （A）スブタイ （B）アリクブケ （C）フビライ （D）イエスゲイ

問 18. 下線部（ウ）に対する説明として誤っているものを、次の（A）～（D）より選び、解答欄 18 にマークしなさい。

- （A）この地域の北半分は前漢の武帝期以来中国王朝に支配され、五代十国期に至って初めて独立した。
- （B）日本軍は 1940 年に北部、1941 年に南部へ進駐した。
- （C）19 世紀後半以降、イギリスの植民地となった。
- （D）1979 年、中国との間で戦争となった。

問 19. 空欄（ 6 ）にあてはまる王朝の名称を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 19 にマークしなさい。なお、この王朝の首都は当時バグダードにあった。

- （A）アッバース （B）ウマイヤ （C）アイユーブ （D）サファヴィー

問 20. 下線部（エ）に対する説明として正しいものを、次の（A）～（D）より選び、解答欄 20 にマークしなさい。

- （A）南宋初期、税制を一条鞭法に改めた。
- （B）南宋のとき、王安石の改革が行われた。
- （C）南宋の初代皇帝は高宗である。
- （D）小説『水滸伝』は南宋末期が舞台となっている。

【Ⅲ】次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

1848 年、二月革命によって（ 1 ）が退位し、七月王政が崩壊すると、フランスでは臨時政府が樹立され第二共和政が始まった。普通選挙による大統領選挙で、ナポレオン 1 世の甥ルイ＝ナポレオンが圧倒的多数で当選した。彼は議会と対立し、1851 年にクーデタを起こして権力を掌握、翌 1852 年の国民投票で皇帝となり、ナポレオン 3 世と名乗った。こうしてフランス第二帝政が成立した。

ナポレオン 3 世は当初、権威主義的な体制をとり、（ア）ヴィクトル＝ユゴーら反対派を亡命に迫りやり、新聞や集会を厳しく制限した。しかし国内では鉄道網を整備し、銀行や産業を発展させ、経済成長を促した。また（ 2 ）を登用してパリの大改造を行い、広い大通りや上下水道を整備して近代都市に生まれ変わらせた。

外交面では、ナポレオン 3 世は積極的に行動した。（ 3 ）戦争ではイギリスと協力し、ロシアの（イ）ニコライ 1 世を破ってヨーロッパの勢力均衡に影響を与えた。さらにサルデーニャ王国と結んでイタリア統一運動を支援し、（ウ）イタリア統一戦争でソルフェリーノの戦いに勝利、ロンバルディアをサルデーニャに与えた。一方、（ 4 ）出兵ではオーストリア皇帝フランツ＝ヨーゼフ 1 世の弟マクシミリアンを皇帝として擁立したが、フアレス率いる（ 4 ）軍の抵抗で失敗に終わった。

内政においては、1860 年代に入ると、ナポレオン 3 世は議会の権限を拡大し、自由主義的改革を進めた。しかし、プロイセンの宰相（ 5 ）との外交交渉で失点を重ね、1870 年のドイツ＝フランス戦争に踏み切ると、（ 6 ）の戦いで大敗してナポレオン 3 世自身が捕虜となった。パリでは臨時国防政府樹立が宣言され、フランス第二帝政は崩壊した。

第二帝政はおおよそ 20 年で終わったが、ナポレオン 3 世はフランスの産業資本主義と都市の近代化を推進し、国際政治でも重要な役割を果たした人物であった。その統治は、イタリア統一やドイツ統一など（エ）19 世紀後半のヨーロッパ国際秩序に大きな影響を与えたのである。

問 21. 空欄（ 1 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 21 にマークしなさい。

（A）アンリ 4 世 （B）シャルル 10 世 （C）ルイ 16 世 （D）ルイ＝フィリップ

問 22. 下線部（ア）について述べた文として最も適切なものを、以下の（A）～（D）から 1 つ選び、解答欄 22 にマークしなさい。

- （A）『赤と黒』を著し、七月王政下の社会を描いた。
- （B）『レ＝ミゼラブル』を著し、ロマン主義文学を代表する作家とされる。
- （C）『戦争と平和』を著し、ナポレオン戦争を題材にした長編小説を完成させた。
- （D）『人間喜劇』を著し、写実主義文学の代表となった。

問 23. 空欄（ 2 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 23 にマークしなさい。

（A）オスマン （B）ティエール （C）ディズレーリ （D）マッツィーニ

問 24. 空欄（ 3 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 24 にマークしなさい。

（A）アヘン （B）七年 （C）クリミア （D）アロー

問 25. 下線部（イ）について述べた次の文 X・Y の正誤の組み合わせとして正しいものを、以下の（A）～（D）から 1 つ選び、解答欄 25 にマークしなさい。

X デカブリストの乱を鎮圧し、専制体制を強化した。

Y 農奴解放令を發布し、自由主義改革を積極的に推進した。

（A）X－正 Y－正 （B）X－誤 Y－正 （C）X－正 Y－誤
（D）X－誤 Y－誤

問 26. 下線部（ウ）について述べた次の文 X・Y の正誤の組み合わせとして正しいものを、以下の（A）～（D）から 1 つ選び、解答欄 26 にマークしなさい。

X サヴォイア・ニースをフランスに譲渡した。

Y ガリバルディは千人隊（赤シャツ隊）を率いて南イタリアを制圧した。

（A）X－正 Y－正 （B）X－誤 Y－正 （C）X－正 Y－誤
（D）X－誤 Y－誤

問 27. 空欄（ 4 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 27 にマークしなさい。

（A）メキシコ （B）ベトナム （C）エジプト （D）アルジェリア

問 28. 空欄（ 5 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 28 にマークしなさい。

（A）グラッドストン （B）メッテルニヒ （C）ビスマルク （D）カブール

問 29. 空欄（ 6 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 29 にマークしなさい。

（A）アウステルリッツ （B）マルヌ （C）ゲティスバーグ
（D）スタン（セダン）

問 30. 下線部（エ）に関連して、次の文ア～ウは 19 世紀後半にヨーロッパで起こった出来事である。これらが年代の古いものから順に正しく配列されているものを、後の（A）～（D）から 1 つ選び、その記号をマークシートの解答欄 30 にマークしなさい。

ア 第 1 インターナショナルが結成された。

イ イタリア王国が成立した。

ウ 再保障条約が締結された。

（A）ア→イ→ウ （B）ア→ウ→イ （C）イ→ウ→ア （D）ウ→ア→イ